

平成16年11月8日

検証検討事項（案）及び第1回会議における委員の指摘事項の整理

検証検討事項（案）	委員の指摘事項
<p>1. 年金の福祉還元事業（大規模年金保養基地（グリーンピア）事業、年金福祉施設事業、年金住宅融資事業）に関する政策決定過程において、厚生労働省及び社会保険庁は時代の変化に適切に対応できていたか。</p>	<p>○ 検証に当たっては、年金の福祉還元事業にかかる政策決定に関する厚生労働省以外の動向や具体的な運営・執行状況について也十分留意するべきではないか。</p>
<p>【具体的検証項目】</p>	
<p>(1) 年金の福祉還元事業に関する政策目的の妥当性について、どのように考えるか。</p>	<p>○ 当時の社会経済状況、国民のニーズを十分把握したうえで評価するべきではないか。</p>
<p>(2) 年金の福祉還元事業は、その政策目的を達成するための手段として妥当であったか。</p>	<p>○ 政策決定する際に適切なデータが用いられたか。 ○ 評価に当たっては、有効性、効率性、経済性という基準以外に国民の福祉ニーズの充足という視点も加えるべきである。</p>
<p>(3) 個別事業において、立地場所の選定や建物の設置は適切に行われたか。また、施設運営の効率化にどのように取り組んできたか。</p>	<p>○ 以下の事項の検証も行うべきである。 ・施設運営の透明性の確保にどのように取り組んできたか。 ・施設の管理者の採用状況如何。</p>
<p>(4) その後の社会環境の変化をどのように認識していたか。また、変化の兆候を把握するモニタリングができていたか。</p>	
<p>(5) 得られた兆候や情報の活用ができていたか。</p>	<p>○ 早い段階で検証するような仕組みを設けるべきではなかったか。</p>
<p>(6) 情報を把握して政策を変更するきっかけはあったか。</p>	<p>○ 臨調答申などこれまでどのような指摘がされているか。</p>
<p>(7) 状況の変化やきっかけがあったにもかかわらず、なぜ政策が変わらなかったのか。</p>	<p>○ 政策を変更するときの具体的目標は出ていたか。</p>
<p>2. 上記検証結果を踏まえ、今後の厚生労働行政の政策決定のあり方をどのように見直すべきか。</p>	